

地球温暖化防止実行計画

平成 24 年 11 月

ヨシダ印刷株式会社

1. 事業内容

印刷業

印刷物全般からデジタルコンテンツまで

媒体の垣根を越え幅広く対応しています。

当社は、1906年の創業以来、「社業を通じて新しい社会に貢献する」という理念のもと、常に、質の高い印刷物・お客様第一のサービスをご提供することで、信頼を得て参りました。

「印刷の本質は、情報伝達機能である」と考える当社は、時代の変化とともに、媒体の垣根を越えて、デジタルコンテンツ制作へも事業を展開しています。印刷会社ならではのノウハウを活かし、ホームページ、DVD制作からWebシステムサービスまで、多数の実績を納めています。

紙製品からデジタルコンテンツ、更には各種ノベルティまで、トータルプロデュースも行っております。

2. 計画の目的

環境に配慮した事業活動を推進するための具体的な手段及び推進体制を定め、それに基づき温室効果ガスを削減することにより、温暖化対策を推進するとともに、継続可能な循環型社会を目指す。

3. 計画期間

平成24年度から平成28年度の5年間（平成23年度を基準年とする）

4. 計画の範囲

この計画の範囲とする事業活動は次のとおりとする。

本社社屋及び、グループ会社であるヨシダ洋紙本社社屋

本社 金沢市御影町19-1

ヨシダ洋紙 金沢市御影町20-1

5. 温室効果ガスの排出量の現況

(1) 平成23年度温室効果ガス排出状況と燃料別排出割合

	排出量 (kg・CO ₂)	排出割合 (%)
二酸化炭素	647,631.0	100.0
（ガソリン）	117,710	18.2
（軽油）	9,120	1.4
（都市ガス）	607	0.1
（電気）	513,488	79.3
（自動車走行）	6,706	1.0

(2) 温室効果ガス排出原因分析

当社の事業活動における温室効果ガスの排出原因は、照明、冷暖房等に関わる電気が主たるもので、全体の約80%を占めている。

6. コピー用紙、廃棄物量の現況

(1) 平成23年度コピー用紙の購入量

A4	711,000 枚	B5	82,000 枚
A3	74,000 枚	B4	78,000 枚

(2) 平成23年度廃棄物の現況

廃棄物の種類および排出量

- ・生ごみ、紙類・事務用紙（シュレッダー含む）6,010kg
- ・プラスチック類 7,090kg
- ・廃油（廃インク）1,270kg CTP液（現像、定着）2,660kg
- ・油付着物 7,520kg ・木くず他 2,460kg

7. 二酸化炭素排出量等の削減目標

平成23年度の排出量を基準として削減目標を次のとおり設定する。

	平成23年度	平成28年度	削減目標
二酸化炭素排出量	647,631 kg	615,249 kg	△5%
（内訳）			
電気使用量	1,213,920 kWh	1,155,651 kWh	△4.8%
ガソリン	50,737 ℓ	50,229 ℓ	△1%
軽油	3,535 ℓ	3,535 ℓ	0%
都市ガス	514 ℓ	514 ℓ	0%

8. 削減のための取り組み

生産部門において、水なし印刷機の導入、ベジタブルインキの使用、FSC認証の取得など、環境対応を実現。

また、品質マネジメントシステムの構築によりムダのない効率化された地球にやさしい生産体制を目指しています。

(例：断裁による損紙は、回収引取りにより再生紙として甦る)

※当社の水なし印刷機について

三菱「DIAMOND V3000LS-4+ecoUV」を2012年2月に導入。

日本初の水なしUV印刷を実現しています。

従来のUV乾燥システムでは、UVランプを3~4灯使用。当社が導入したecoUV装置付印刷機は、1灯でUV乾燥が実現可能。これにより、従来より電力消費量を約1/3に抑えることができる。

また、当機のecoUVランプは、オゾンを発生させないことに加えて熱の発生も少なく、排気熱による印刷環境への影響を低減しています。

電力関係

- ・ 冷暖房機器の定期点検整備、フィルターの清掃
- ・ 中間期（春・秋）冷暖運転中止
- ・ 夏季の冷房運転は、7月から開始（28℃設定）9月まで
- ・ 午後7時以降運転停止（扇風機のみ使用可）の徹底
- ・ 窓に遮光フィルターを貼る
- ・ ブラインドの活用
- ・ クールビズの実施（6月～9月）
- ・ パソコン非使用時の電源オフ、省エネモードの設定
- ・ パソコンを省エネタイプに更新（平成23年）
- ・ コピー機を省エネタイプに更新（平成23年、24年）
- ・ 夏季期間昼間時間帯の廊下の照明消灯、間引き照明
- ・ 照明等のスイッチに節電を換気するステッカーを貼る
- ・ 不在個所等不要な場所の消灯を徹底する
- ・ 省エネタイプの照明器具（LED）に切り替えを検討
- ・ 毎週水曜日を残業制限日として電力使用を抑える

車両関係

- ・ 毎月 1 回、整備士による一斉車両点検を実施
- ・ 急発進、急加速、空ふかしをしない、経済的運転をする
- ・ 不要な荷物は積まない。
- ・ 社有車の減車（用途、走行距離、年式考慮の上）
- ・ 低公害車、低燃費車の導入検討

事務関係

- ・ 文具品の社内リサイクル品の利用
- ・ 両面コピー、縮小コピーの利用の促進
- ・ ミスコピー・プリントをなくす（用紙サイズ、枚数、プレビュー等確認）
- ・ ミスした用紙は、再生用回収 BOX に入れる
- ・ 社内電子メール、電子掲示を利用して紙回覧を減らす。
- ・ コピー機は、認証カードにより運用
- ・ 会議資料等は、必要最小限の部数にする。
- ・ 複写伝票の廃止、紙ベースに変更

9. その他の環境対策

（1）紙・水使用量の削減

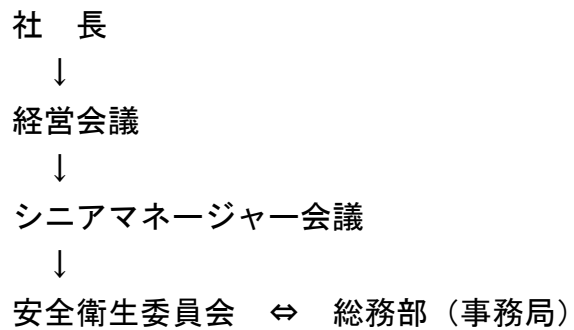
- ・ 紙類 …… 事務用紙類（カーボン紙除）を再生可能紙として分別回収 BOX を設置してリサイクルの推進に努める
- ・ 古本回収を行い、寄付するボランティア活動 社内に専用ポストを設置（全国被害者支援ネットワーク）
- ・ 水（地下水） …… 水冷式冷暖房機の空冷式への転換を検討

（2）廃棄物の削減

整理整頓と廃棄物の分別を徹底し、事務用ゴミの削減とリサイクル率の向上を推進する。回収・廃棄 BOX を設置する。

10. 計画の推進体制

(1) 組織



(2) 社員への研修

使用電力、ガソリン代、高速料金等を掲示節減意識の向上をはかる。